

今号には3編の原著論文が揃いました。いずれも本学の学位申請論文であり、オリジナリティやクオリティの面で高い評価を得られるものと確信致しております。それぞれのテーマも、鍼灸に関する全国調査や脳機能MRIを駆使した鍼刺激効果の検証、動物を用いた鍼鎮痛機序の解明など、バラエティーに富んだ内容で幅広い読者の興味を惹くものと思います。さらに今回は、第36回全学横断的シンポジウムの講演要旨並びに第17回国際学术交流講演会の講師による寄稿も掲載され、正に本学の研究・学术交流活動のエッセンスが盛り込まれた内容といえるでしょう。今後も本誌に投稿される貴重な原稿をより良い形で読者に伝えるための編集に注力し学内外での学術活動を読者に余さずお伝えする媒体となるよう誌面を充実させてゆきたいと思ひます。

最後に、貴重なご研究やご講演の成果を投稿していただいた著者の皆様、並びに原著の査読に貴重なお時間を割いていただいた先生方に深謝して稿を終えさせていただきます。

副編集長 石崎直人